

(1)事業の概要等

事業番号	B1501-2
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	児童クラブ開設時間延長等事業(児童クラブ運営事業)					担当部			こども未来部		
	事業期間	平成7年度	～	令和7年度以降			担当課			こども政策課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	15	展開方向	1	担当係			子育て支援係		
	予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	児童福祉法、小牧市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、第2期子ども・子育て支援事業計画					事業種別			法定受託系事業		
	目的・成果(何のために、どのような成果を期待するか)	家庭に代わる適切な遊び及び生活の場を提供し、健全な育成を図る。										
	対象(何・誰を対象に)	昼間保護者が就労などで家庭にいない児童										
	内容・手段(目的達成のためにどのような事業を実施したか)	令和3年度から平日の開設時間を30分延長し19時まで開所し、就労等により18時30分以降に家庭内で保育することができない児童の受入れを行っている。令和4年度においても引き続き、平日の開所時間を19時までとした。 令和2年度の会計年度任用職員制度の開始に伴い、児童クラブの通年勤務の職員を所長―指導員―支援員と職位を階層化し、組織体制と職責を明確にするとともに、クラブの統括者である所長と、所長を補佐し、サブリーダー的な位置付けである指導員に対して処遇改善として報酬月額を増額し、時間延長に対応する人的な面での基盤整備を行っている。令和4年度においても引き続き時間延長に対応する人的な面での基盤整備を行った。										
受益者負担	有	通年利用の場合、5,000円/月(8月のみ8,000円/月)。長期休暇利用の場合は春休み(4月)2,500円、夏休み(7月)2,500円、夏休み(8月)8,000円、冬休み2,500円、春休み(3月)2,500円。 17時以前の迎えで月額-1,000円、18時01分以降の迎えは月額+1,000円、8時29分以前の利用は月額+1,000円。 市民税非課税世帯は半額減免、生活保護世帯は全額減免、また市独自施策として、第2子半額減免、第3子全額減免(複数の減免に該当する場合、最も減免率の高いもののみ適用)。										

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	—	—	—	—
		国・県支出金	千円	—	—	—	—	
		その他	千円	—	—	—	—	
		計(A)	千円	0	0	0	0	
	対前年比	%	—	—	—	—		
	予算額	千円	—	—	—	—		
人件費	正規職員	人	0	0	0	0		
	正規職員(平均賃金)	千円	0	0	0	0		
	その他職員	人			2.15	2.15		
	その他職員(時給×時間)	千円			472	474		
	計(B)	千円	0	0	472	474		
事業費合計(C=A+B)		千円	0	0	472	474		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		15	展開方向		1	
指標名		単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1	放課後児童クラブの待機児童数	人	→	0	0	0	0	
2								
3								

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標	登録児童数(迎え時間18時31分以降※各年度3月実績)	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	108	153	
				目標					
				実績					
	活動指標	開所時間の延長をした児童クラブ	箇所	目標	—	—	16	16	16
				実績	—	—	16	16	
				目標					
				実績					
	単 位 あ た り 事 業 費	受益者数(a)		人	—	—	2,247	2,281	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの					
	事業の達成状況と課題	<p>待機児童数は0人を維持することができた。また、18時30分以降の利用者が一定数いることから、開所時間を延長した効果があったと考える。 一部の児童クラブにおいては利用児童の増加により、今後クラブ室が不足する可能性がある。 児童クラブ支援員の人材不足が続いており、人材の確保が今後の課題となっている。</p>						
	今後の実施内容	<p>利用見込みに応じたクラブ室の確保を行い、待機児童0人を維持する。 複数のクラブで人材不足の状況が続いているため、人材確保の方法を検討していく。</p>						
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節		